

平成28年度第1回湯梨浜町地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時 平成28年8月19日(金) 13:30~14:30

場 所 湯梨浜町役場 第3会議室

出席者 徳田委員、塩委員、山田委員、宮本委員、増田委員、
坂口委員、清水委員、濱口委員、中本委員

事務局 竹本所長、宮本補佐、佐々木、洞ヶ瀬、森、戸崎

1 開 会

2 あいさつ

課 長 委員を快く受けて下さり、ありがとうございます。

平成26年度と比べ、認定者数は増加している。またその内の認知症の診断を受けている方の割合も増加している。平成27年度予算決算においても平成26年度からの繰り越し金7,320万円あり。また返納金は1,500万円になる。介護給付費を少しでも抑えられるよう取り組んでいきたい。

3 会長及び副会長の選任

課 長 会長、副会長の選任はどのようにさせてもらったらよいか。

委 員 事務局一任でいいのではないか。

課 長 では事務局から会長に徳田委員、副会長に塩委員をお願いしたいと考えている。

委 員 (承認)

会 長 よろしくお願ひします。

副会長 スムーズに審議が行えるようにしていきたい。

3 協議事項

(1) 平成27年度事業報告について

(資料に基づき事務局から説明)

委 員 地域ケア会議で注目すべき課題は上がっているか。

事務局 会議では個別課題と地域課題の抽出を図っている。

男性高齢者の閉じこもりや買い物等の交通手段についてが課題として見えてきているところ。

委 員 買い物支援について今後の展望は。

事務局 今年度検討していく。

委 員 家族介護用品給付事業の利用はどういった仕組みになっているのか

事務局 要介護4、5の方で非課税世帯、在宅におられる方を対象に申請を受付けた上で助成券を交付している。

委 員 PRは行っているのか。対象者からの申し出を待っている姿勢なのか。

事務局 ケアマネジャーに周知は行っており、PRはできていると考えている。その上で申請を受付けての対応となる。

委員 非課税世帯という条件のあたりでプライバシーの配慮も必要があるのでは。
事務局 事業の周知の方法として保険証の発送と併せてチラシを同封する案もあるが、
該当とならない人も出てくるので思案している。新しいPRの方法も検討していく。

(2) 平成28年度事業経過について

(資料に基づき事務局から説明、事務局の自己紹介)

委員 短期集中型サロン活動支援事業とはどういったものか。
事務局 地域のサロンにて筋力低下防止を目的に3か月週1回のペースで集中的にサロンに出向き、運動の習慣化を目指す。ゆりりんメイトと協力し、3か月以降も継続して行えるよう支援する。

委員 3か月間暫定的に行うのか。各地域に広げて行っていくのか。
事務局 各地域に広げて行えるようやっていきたい。ゆりりんメイトがいる地域を皮切りに実行していきたい。

委員 事業なのでスケジューリングして計画的にやっていくことを示してもらえたらわかりやすい。
委員 移動支援事業は「新」となっているが、以前からやっていたのでは。
事務局 社会福祉協議会でのりあいバスは以前から行っていたが、今年度より町の助成が開始となったので、新事業として表記させていただいた。

委員 地域包括支援センターの職員が事務職として配置されているがどういう位置づけなのか。
事務局 介護保険事業計画の中で認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーターの配置が位置付けられているが、専門職の増員が困難だった。地域包括支援センターの介護支援専門員が兼務として配置する形となり、増員された事務職は事業に係る事務全般、及び介護保険系の補佐的な業務を行っている。

委員 ミニデイサービス事業の「閉じこもりがちな人」、食の自立支援事業の「自宅で炊事が困難な方」とあるが基準はあるのか。
事務局 ミニデイサービスの対象は事業対象者としている。閉じこもりがちかどうかは基本チェックリストの点数に該当するかどうかで判断している。食の自立支援事業については明確な基準はないが、担当者が状況を書面にまとめ、サービス調整会議を開催し、必要性を協議している。また、対象者の条件は要綱にも明記している。

委員 集団健診タッチパネルをした評価はどうだったか。
事務局 タッチパネルを実施し、フォローが必要な方には後日訪問する等の対応をしている。また、今年度も昨年度同様に健診にてタッチパネルを実施していく。その際にはフォローアップに漏れがないよう、また気軽に取り組めるよう、認知症支援推進員を中心に工夫を図っていく。タッチパネルの実施については今年度事業経過報告に記載漏れがあり、申し訳ありませんでした。

(3) その他 新任委員の紹介。

4 閉会

副会長 昨年度、今年度と事業の報告をいただいたところではあるが、いずれにしても町民の参加がないと計画倒れしてしまう。町民の立場にたって活動していただければありがたい。町と社協と協力し、連携をとってやっていきたい。